

懇談内容

【チームひらた】

令和7年11月22日

議員定数について

●Yさん

議員定数の削減はどうなったか。

●荒川英義議員

議会全員協議会で議論を重ね、10人に削減することに決まった。

●Eさん

昨年の段階では、色々と言っているところがあるので12人が妥当だという回答であったが、今後、役割分担等はどのようにしていくのか。

●吉田喜尚議員

今後協議していくことになる。

●Kさん

そもそも何で2名の削減なのか。根拠は。身を切る改革は、定数削減ではなく議員報酬の削減だと思う。平田村は5・6

人が妥当だと思う。

●Yさん

私は病院に勤めていて、経営改善委員会に携わっているが、一職員の発言では動かないが、議員の発言が影響する。議員の力で白が黒になったりするので、責任のある仕事なのだと思う。

●Mさん

議員は定年制にして、若い世代で回していった方がよい。活力を生むには発想を若くした方がよい。

●Yさん

議員の噂話は聞いており不審な目で見ている。

●Yさん

議員の仕事の内容など、皆さんで判断して決めればよいと思う。

●Eさん

前回、仕事が多いので減らせないと聞いてた。2名減になり、議会活動が手薄になってしまうのではないかという不安がある。

●Yさん

議員に対するイメージは、学校に来る来賓の人たちと思うくらいである。

●Sさん

議員が、私たちにどういう影響を与えているのかというのをこれから勉強していければと思う。その中で、要望や理想の形をお伝えして、それを村政に反映していただき、もし自分の周りにあまりよくないイメージを持っている人とか、噂自体がそれなのなのというのがあれば、それを直していただき、良いルールに乗っけていけるのがベストかなと思う。

●Kさん

村を良くしようという志を、皆さんが持っているというイメージはありますが、実際なされたことについて本当に良くなったかというところ、意見が食い違っていて、先に進まないというイメージが多い。

●Nさん

各議員の意見の相違はあると思うが、村を良くしたいというのは議員の皆さん一緒だと信じている。そのような思いが30〜40代に知れ渡ればよいと思う。

●Eさん

議員に決定権がある。ない等知らなければ選挙の話聞いていて、矛盾してしまう部分もある。あの時言ったのとか、握手を重ね応援したが見向きもしてくれない方の中にはいる。そういった中で、村政などから、若い人たちが離れて行ってしまうと気付いた時には、自分たちの身にふりかかってくる。そういったことがないように、こういう会も踏まえ、議員じゃなくても村政とか国政に携わることが大事だというのを、勉強会を通して進められれば、日本という国のシステムにおいて考え方が変わってくるのではないかな。

●Sさん

議員削減になっても、村民の声が届かなくなってしまうに頑張っていたきたい。

●Yさん

消防団として活動しているが、班も人員が確保されないため合併の話も出てきている。数年後団員がいなくて活動できなくなった時に、消防署が新田に移ったら、火災などがあつた際に、常備消防の到着まで時間がかかり、全焼してしまうのではないかな。また、廃校とか活用されていない。何かあると新しいものを建てるが、そういうのを考えて欲しい。

●Yさん

若い時は村政に興味はなかったが、年齢を重ねるようになったことある。子どもの未来を考えたことが増えて、そういったことがつながる形をとりたいと思っている。自身がやることではなくて、伝えていかなければならない部分を、懇談会は気さくに話せる場だと思う。

●Kさん

そもそもなぜ移転なのか。

●三本松和美議員

旧蓬田中跡地への移転の話もあったが、防災道の駅になった流れが影響する。

●Kさん

ヘリポートが必要ならそこに作ればよい。今の道の駅で十分ではないかな。

●Sさん

今道の駅があるのになぜ新しくするという発想

●Yさん

消防団として活動しているが、班も人員が確保されないため合併の話も出てきている。数年後団員がいなくて活動できなくなった時に、消防署が新田に移ったら、火災などがあつた際に、常備消防の到着まで時間がかかり、全焼してしまうのではないかな。また、廃校とか活用されていない。何かあると新しいものを建てるが、そういうのを考えて欲しい。

●Yさん

若い時は村政に興味はなかったが、年齢を重ねるようになったことある。子どもの未来を考えたことが増えて、そういったことがつながる形をとりたいと思っている。自身がやることではなくて、伝えていかなければならない部分を、懇談会は気さくに話せる場だと思う。

●Kさん

そもそもなぜ移転なのか。

●三本松和美議員

旧蓬田中跡地への移転の話もあったが、防災道の駅になった流れが影響する。

●Kさん

ヘリポートが必要ならそこに作ればよい。今の道の駅で十分ではないかな。

●Sさん

今道の駅があるのになぜ新しくするという発想

になったのか。

●吉田喜尚議員

防災道の駅に指定されたということが最初に説明された。そして、規模が小さい、ヘリポートも作りたい、防災品も貯蔵したい。色々な考えがあり、新たな場所に規模を大きくして建設するという発想である。決して新しい道の駅全体が防災指定というわけではない。



●Fさん

猪苗代と同じ規模でつくるのか。

●吉田喜尚議員

まだ決定ではない。

●三本松和美議員

私たちに示されている

のは基本構想だけ。

●Fさん

猪苗代には色々なのがあり、人々呼んで町の財源になるかもしれないが、平田村には何もないのに、大きいのをつくって何になる。

●Fさん

それだけ大きい規模の道の駅ができるのなら、道の駅を活用してイベントをやったりして活用できれば、プラスになると思う。

●Sさん

道の駅造ります、消防署移転しますというときは、専門家の意見を聞いているのか。

●荒川英義議員

道の駅については大学の教授など15名くらいで、検討委員会を組織していることまでしか分からない。

●三本松和美議員

消防署移転について、総務課長は移転しても5分くらいの時差であるとの説明であった。本当に

命を守るなら、数分が重要であり、考え方に相違があった。

●吉田喜尚議員

消防署の移転に関して、緊急の時に49号線沿いにあったら出づらい、なぜ国道沿いにするのかと質問したが、総務課長から明確な答えはもらえなかった。また、常備消防の方の話では、今の場所の方がどちらにも出やすいのでもいいというのが、私がアンケートを取った答えだった。

●Mさん

自分の親も年末に倒れたが、東山なので消防署が近くて良かった。これが少し遠くなるだけで、初動が約8分変わる。初動時間が変わると、助かるものや軽症ですむものが、死亡や重症になる。現在の場所だから、どこに行くにしても同じように行ける。火災の場合も間に合わない。そういうのが起きてしまったら移転する意味がない。

●Yさん

今の道の駅の駐車場を広げられない理由は。補助金を返したとか？

●根本定雄議員

現在の道の駅を造る時の条件が、いまだに実行されない等の理由で、地権者に限らず地域の方も絶対に反対だという意見があった。

それでも行政では4千万円というお金で調査設計したいということだったので、賛成できなかった。

人口減少対策について

●Yさん

今年須賀川に引っ越した。理由として一番は子供の進学、高校に行くにあたり、郡山、須賀川に行く時代になっており、通学の不便さを一番に考えて決断した。これから子どもたちのことを考えて行かないと、人がいなくなってしまうので、平

田村にずっと住み続けたいと思える村づくりをして欲しい。

●Nさん

減るものに対してはどうしようもない。だったら、他の地区から平田村に住んでも良いというインフラだったり、遊び場だったり、一極集中しないで村全体を見渡し、建てたものをどのように活用していくかを村と村民が話をしていかないと、村や議員だけ頑張ってもダメだし、永遠のテーマだと思う。

●Eさん

中学校までの子どもたちのライフスタイルとしてどうだったのか。校舎が古い、生徒数が少なくて複式学級の学習スタイルだったりとかの環境だったら、子供たちが進学するにあたりどうだろう。

●Yさん

高校進学となると、今は大半が郡山や須賀川の方に行く状況なので、一

番不自由なのが通学である。送迎で待たせたり、夏休みの送迎や仕事を抜けて迎えに行ったりとか。

●Eさん

小学校が2校あって今後どうなるのか気になる。複式学級だったり、同学年が極端に少ないという環境よりは、統合しそれぞれの学年で学習できる環境を整備することが大事。

●Yさん

子どもが生まれた当時に西山小はあったが、子どもは小平保育園、小平小学校にあげた。高校は、2人とも郡山の高校に通わせた。高齢者への福祉も重要であるが、村の存続のためには、子育ての部分の方が優位になっていかなければならないと感じている。

●Kさん

私は今年戻ってきて、子どもは「ひらたこども園」に通っている。同級生は20人かいて、来年少小学校にあがる。今、小

平小には7人で男の子は2人。せっかく友達もできたのに、仲の良い友達は蓬田小に行ってしまうので、蓬田小に通わせてくれないかと教育委員会に相談をしたが、ダメです。中学校で一緒にいるが、6年は長い。そういうところ融通が利かないのかな…小学校統合に関しては何のくらしい話が進んでいるのか。

※区域外就学に関する規則により認められません。

●吉田喜尚議員
その話は議員は全く聞いていない。

●Yさん
昨日座談会に行った時に、これから田畑荒らさないためにどうしよう。新たに新規開拓者の方に農地を預けて大規模にやっています。じゃあ、うちの行政区で新規は何人いるのですかと聞いたらいけないと言う。村で1人2人、これって何のため

の会議なのかとなった。どうあがいても村に任せ

るより、自分たちが集約するしかない。議会は2元代表制だが、物事を決めるときに、議員は根回しとか、忖度色濃くあるのか。

●根本定雄議員
大きな金を使いマイナスになったら監査で指摘する。反対する、苦言を呈することも大事。そういうことで忖度はない。

●吉田喜尚議員
私たちはブレーキ役ではない。いくらこうしたいと言っても、執行側がやらないと言えばそれまで。執行側で間違っていることがあれば、反対することが出来る。私たちが賛成反対しているのは、その後ろにいる村民の意見だと思っていただけばよいと思う。

●Sさん
ファーマーズでやっているようなことをしているという座談会を、あちこちでやっているのか。

●吉田喜尚議員
平田村の土地は、山間

部も多く難しいとは思いますが、みんなで知恵を出してもらったための座談会だと思っています。

●Sさん
上北方地区を、農地中間管理機構で法人化したのが2例目。私はその運営委員になった。軌道に乗せるまで、5年くらい見て、色々な試験作物を植えて行こうという話になっていてるので、先

にやっているのがどういふふうになるか見守りたい。

●吉田喜尚議員
そういうものが広がっていけば、本当にいいのかなと思う。

議員報酬について

●Fさん
議員報酬をどう思っているのか。

●根本定雄議員
議員もその仕事だけで食べている議員だけでは

上り分です。十分かと思っ

ている。

●三本松和美議員
一般質問や議案審議等をするのに、それを調べるための時間が必要であり、みんなの声にお金がかかる。上げるべきと思う。

●荒川英義議員
若い人が議員になってもらうためには、上げてほしいと思う。

●Yさん
報酬が上がったから頑張るというののほうかと思

う。

●Kさん
若い議員や良い議員を集めるなら、ある程度報酬が高くないと集まらない。

は皆さんが判断すればいいと思う。

【平田村商工会】
令和7年12月12日

住宅問題・空き家対策
利活用について

●関根猛議員
事前に提出のあった趣意書の「村の人口減少対策の中の、住宅問題・空き家（住宅・学校）対策利活用」についてテーマ

とした。

●Kさん
長屋の村営住宅は、消防法の問題や、衛生上トイレなどどうなっているかわからない。長屋みたいな住宅は取り壊して、新しい住宅を準備しないと、他から呼ぶのは無理

と、今回、学校跡地に賃貸住宅を造り満杯になった。あのよう

にきちと建てて環境をつくれば、若い人が平田に留まる。役場職員も含め、平田で働

いて村外から通っている方がいる。住宅環境づくりをすれば、わざわざ村外から通わないと思う。

●関根猛議員
村営住宅の古い建物は家賃が安く、建て替えるところの程度

の金額をもらわなくてはいいけない。

●Kさん
5万円とか6万円の家賃を払うのは当たり前であり、村から補助をもらって1万円とか2万円

で入れるとか。人口を減らさないようにするには、色々なことをやらないとダメだ。

●荒川英義議員
Y企業が小野高校平田校跡地に建築した住宅の土地は、村に30年間地代を払えば無償譲渡する

趣意書のとおり、住宅

建築に関する補助金制度、

U・イターン希望者に対する村独自の具体的な支援メニューについて、議員の方はどう思っているのか。

●遠藤正彦議員

新築は30万円・中古は15万円の補助、転入者加算40万円、地域活性化加算30万円、子育て加算10万円×中学生以下の子供の数が村独自の補助プラン。それに加えて、福島県の感動ふくしまプロジェクトがあり、就職、起業すると補助がある。

●荒川英義議員

支援策は、村内の人も条件を満たせば対象になる。

●Mさん

補助の周知方法について、HP以外に何かお知らせしたいという考えはあるか。

●遠藤正彦議員

平田村のパンフレットを、商工会等に積極的に預けて活用していければ

と思っている。

●Mさん

企業が広告を出したい場合に、村の制度の周知をしても大丈夫か。

●関根猛議員

村の制度は公表しているものなので、問題ない。なお、学校の利活用については、耐震がなっていない、建物が傷んでいるなど、再利用には莫大な金額になり難しい。総務省から解体のための補助があり、利活用しないのなら早期に取り壊すのも一案であると思う。

●吉田喜尚議員

廃校の活用方針はあるか。学校跡地を使用した団体がある場合貸付は可能かを一般質問した。

回答として、建物の年数が経過していること、長

寿命化改修が難しいことから、旧蓬田中学校舎等は解体を視野に、旧小平中学校舎は、閉校に伴う学校資料などの展示施設としての活用を検討しているとのことであった。

●Iさん

蓬田中学校の校舎と体育館は耐震補強しているのでは。

●遠藤正彦議員

教育課の説明では、後側の実習室などは耐震になっ

企業誘致について

●関根猛議員

PRしているが申し込みに至っていない。近隣市町村でも工業団地が空いているので、企業誘致するには前向きにいかないと難しい。

●吉田喜尚議員

企業誘致活動について一般質問した。回答として、工業団地の空き区画は小館工業団地の1区画であり、ホームページで紹介している。昨年6月以降2社から問合せがあった。また、県の企業立地セミナーでPRしたが、

問合せはないとのこと。

●Iさん

大きい企業を呼ぶためには大々的にやらないとダメだと思う。少子化にも歯止めがかかるし、良い企業が集まれば、おのずと人が集まると思う。

●Sさん

人口が少ないところに来るわけないと、誰から言われたのか。

●吉田喜尚議員

村長答弁で、企業から言われたことは、土地建物をただで貸すよというのは、どこの市町村もやっている。一番大事なのは建物のコストがかかり過ぎるため、村の補助があれば食いつくとのこと。

●Sさん

トップがそういう考えではダメだと思う。

●吉田喜尚議員

トップセールスが大事ではということは一一般質問したが・・・

●Sさん

根本的な考え方を変えていかないといけない。

アクションを起こしてい

かないと前に進まない。

人口が減るなら日本一少ない村にしてみいのは。

●Mさん

廃校に企業誘致するのは可能か。紹介しても良いのか。

●関根猛議員

耐震や学校という間取りが問題になってくるが、利用したい方がいれば、村の方へ問い合わせせてほしい。

●遠藤正彦議員

委員会で廃校を視察したが、改修に何億もかかると思う。それなら、更地に建てた方が早いとな

るような現状だと思う。

●関根猛議員

期限付きで解体補助があるので、解体し新たに建てた方が利用価値はあると思う。

買い物弱者対策事業への支援について

●関根猛議員

一般質問で移動販売車の提案をしたが、費用対効果の関係で実施してくる方がいないとのこと

●Kさん

素人より、経験のある人に話かけるべき。

●Nさん

採算に合わないので厳しい。ちょこっと助け隊などに、買い物に連れて行ってもらうのが一番、少ない予算でできると思う。

●関根猛議員

移動販売車の目的は、物を売るだけでなく、安否確認も行うことにある。



● Nさん

村で保冷車を用意し給料制にしてもらえば可能。そこまでやらないと成り立たない。

● 遠藤正彦議員

行政で、資金面まで関与している所はうまくいっている。与している所はうまくいっている。

議員活動に関する質問について

● 吉田喜尚議員

できるだけ土日に歩き、同年代の方などの意見を聞いている。

● 遠藤正彦議員

手作りの活動報告を作り手渡ししている。また、周りの10、15人くらいで定期的な会合を月1回行っている。

道の駅ひらたの移転について

● 関根猛議員

質問のあった①設計の際に、商工会や直売組合及び村民の意見を聞く機会はあるのか。②「機会が無い、未定ならば執行部側に打診して欲しい」について、村の担当課に確認し、機会を設けて欲しい旨申し入れたい。

● Aさん

今の状況は、地元の農産物が少ない。農家の人に声をかけて、野菜など売って欲しい。

● Kさん

期待を裏切らない店舗を造って欲しい。

● Mさん

生産者が少なくなったら、品揃えをどうするのか。客を呼べるような村独自の特産物がないと厳しいと思う。

● Oさん

親戚が柏餅とか作っている。赤字ではないが大変だと聞いている。妹も30人衆をやっている、特産品を開発しているらしいので、道の駅で披露して欲しい。嫁が料理好きなので、資金があれば道の駅に出したいと言っている。

● Kさん

補助金など出し、蕎麦だけじゃなく他の食べ物も作らないと、団体客に対応できない。

● Iさん

補助金など出し、蕎麦だけじゃなく他の食べ物も作らないと、団体客に対応できない。

● Kさん

地元でも工事に関わりたいので、議会で議論して欲しい。

● Kさん

道の駅の駅長に定年はあるのか。

● Fさん

定年はあるが、再任用となるらしい。

● Kさん

駅長を新しい人にするのも一つの道だと思う。

● Nさん

新たに道の駅になった「いわき・ら・ら・ミュウ」を視察した。いわきでも農作物の確保が大変だと言っていた。

● Kさん

バイク専用駐車場、ATM設置を望む。

● Sさん

道の駅の移転目的は聞いたが、なぜ引越すのか。どこまでみんなに公表しているのか。

● 遠藤正彦議員

来年の3月までの期間で、基本構想、基本計画を作っているとのことだ。

● 関根猛議員

● Sさん

引越し目的は。

● 遠藤正彦議員

県の構想としては、ここを拠点として、浜通り全域、県南の防災活動の拠点にするため、相当の敷地が欲しいとのこと。

● Iさん

「ら・ら・ミュウ」の視察をしたが、第三セクターでやっており、テナントも入っている。商工会や地元の方をメインに入ってもらえたらよいと思う。

● Sさん

無印良品が入っているところもある。

● 関根猛議員

要望のあった「村内小規模企業者の受注機会の増大について」は、村の少額工事は指名競争入札で行っているが、指名業者が少ない。条件を緩和し指名業者を増やすよう要望する。

食品加工所の補助について

● 関根猛議員

要望のあった「小規模（自宅等）食品加工の設備をする場合、村独自の補助制度を提案していただきたい」ということについては、村に要望している。

● 関根猛議員

証明書のコンビニ交付について

● 関根猛議員

要望のあった「住民票、印鑑証明等のコンビニ交付について」は、担当課に確認したところ、初期

村内小規模企業者の受注機会の増大について

● 関根猛議員

要望のあった「村内小規模企業者の受注機会の増大について」は、村の少額工事は指名競争入札で行っているが、指名業者が少ない。条件を緩和し指名業者を増やすよう要望する。

投資と維持管理費が膨大な金額になる。また、発行件数が少なく費用対効果は小さいため検討中であるとのこと。なお、午後7時までの延長窓口や郵便請求も行っている。

● Kさん

延長窓口は土日もやっているのか。

● 関根猛議員

水曜日のみである。

● Kさん

土日しか休みがない人は、コンビニで取れば便利。平田だけ取れなくてがっかりした。そういうところから若い人が離れる。

● Iさん

費用はどのくらいかかるのか。

● 関根猛議員

維持費は年間300万くらい。それ以外に初期投資がかかる。

● Fさん

そんなにやっている市町村があるのか。

● 関根猛議員

大きな市・町は行っ

いると思う。ただ、平田の場合、発行部数が少なく検討中である。担当部署で全く検討していないわけではない。

道路沿いの樹木伐採等について

● 関根猛議員

「道路沿いの樹木伐採、凍結防止について」は、一般質問の中で、業者に発注し一気に伐採できないか。補修員が3人なので、増やしたらと質問したが、経費の関係上、検討するとの回答であった。

● Fさん

支障木の伐採の助成は出ているのか。

● 関根猛議員

村道等維持補修補助金の申請をすれば、20万円の補助が出る。

● Fさん

民地に入ったものは、

● 関根猛議員

支障木が影になり雪解けが遅いなどという場合

は役場に相談した方が良いと思う。

● Iさん

上蓬田では、去年20万円の補助をもらい伐採した。

● Fさん

昔事故があったので、住民の人がやるより、業者に委託した方が間違いないと思う。



熊対策について

● Sさん

熊対策は村でやっているのか。猟友会の内容を教えて欲しい。

● Sさん

熊が出たら、猟友会の

方に依頼が行くのか。

● 吉田喜尚議員

駆除隊に依頼し、役場職員と駆除隊が現地確認をする。

● 関根猛議員

駆除隊の中には、猟友会の方が入っている。

● Sさん

猟友会は年齢的に大丈夫なのか。また、不足していないのか。

● 関根猛議員

高齢化しているという課題はある。村でも資格を取る方に補助を出す、村職員が資格を取る等の対応が必要になってくると思う。

【農業委員会】

令和7年12月15日

農業委員会との懇談会

は、4グループに分かれて意見交換を行い、発表するという形式で実施しました。

▼Aグループの発表

① 農業機械を購入する際の補助率を上げてほ

しい。

② 耕作放棄地が増えてるので、ラジコン草刈機の購入とオペレーターの育成を望む。

③ 特産品のハバネロ生産の伸び悩みあり、他の特産品あったら色々出してほしい。

▼Bグループの発表

① 個人で起業する際、村の補助を受けようとしてもハードルが高く、村の補助を受けることができない。

② 地域おこし協力隊を受入れて、農業や6次化での活躍を期待する。

③ 県外導入牛で受胎しない基幹牛を、行政が買取りし家畜商に売り渡している例がある。

④ 特産物の拡大、選別する機械の導入を望む。

▼Cグループの発表

① 北屋敷、北方以外に圃場整備が必要。

② 基盤整備できない農

地は山に返す。

③ 道の駅を建設する場合には、J Aとの連携が必要ではないか。道の駅や農協に出荷したいが、高齢化により出荷が難しい。

▼Dグループの発表

① ライスセンターについて、それぞれ機械が老朽化しており、早急に実現してほしい。

② 6次化について加工施設がなくて何が作れるのか、議会は何をやっているのか。B級品以下の農作物にA級クラスの価格にするためには加工が必要。

③ 時間がない、後継者がいない、農業従事者の高齢化、機械が老朽化している。しっかりとした計画を立ててほしい。安定した農業をしたいが国に左右される。やめない組織づくりとして維持するための良い案がないか。